

かえるちゃん通信



イメージキャラクター
かえるちゃん

新病院となり、約1年が経とうとしていますが、みなさんお元気でお過ごしですか？
しばらく職場から離れているみなさんにとっては、新しい職場環境に対する疑問や戸惑いの気持ちをお持ちのことと思います。

このかえるちゃん通信を通して、そういうみなさんに、病院からの情報等を定期的にお届けします。今月はドクターヘリに関する話題と職場復帰の先輩の手記をお届けします。

かえるちゃんのネーミングの由来は、安心して職場に帰る（かえる）ことができるように...という思いが込められています。

ドクターヘリ運航の実際

コードブルー！コードブルー！ドクターヘリが到着します！



8番エレベータはドクターヘリ専用です！

平成24年2月から県の事業で開始されたドクターヘリは、三重大学付属病院と当院が基地病院となり2ヶ月毎に当番病院を交代します。次の当院の当番月は、12月・1月です。より急性期疾患の発生しやすい季節なので、忙しくなるかな～。



ヘリ要請があればCS(コントロールセンター)から専用PHSでコール



専用PHSが鳴った瞬間、フライトスタッフは8番EVでヘリポートへダッシュ!!
かかってきたPHSにも出ません



要請から離陸まで約3～5分!
見事な早業で現場直行!

この院内放送がかかると、一般の人は8番EVを使用できません。フライトスタッフ専用になります。もし載っていたら最寄りの階ですぐに降り、譲りましょう。



【ドクターヘリワンポイント知識】
★三重県ドクターヘリは、三重大、当院どちらの基地病院にいても、県全域におよそ30分以内で到着します。
★ドクターヘリは、救急車のように一般からの要請には応じません。消防からの要請で運航します。
★一回運航するたびに津の伊勢湾ヘリポートまで燃料給油に飛びます。その時もフライトナース・ドクターは同乗します→要請があったらそのまま現地向かえるからです。
★ドクターヘリ運航に係る費用は、利用者の負担にはなりません。医療行為にかかる費用は患者負担になります。

職場復帰の先輩の手記

職場復帰への道 小野厚子

世間の平均出産年齢を若干超えた出産でしたが、遅く産んで得なこともあり、院内保育所が利用できたり、育児休業一時復帰金が手厚く支給されたりなど、子育て支援策の恩恵をたっぷり受けて働くことができています。なかでも院内保育所は、利用手続きが本当に簡単で、祝日やお正月など、一般の保育所が休みの時にも利用できるの、ありがたいですね。

さて、私は、育児休業中に、仕事復帰に向けた計画をすすめました。その計画というのは、

- ①スタッフの育成：夫への育児指導(ほめて育てるのコツ)
- ②業務改善：家事の効率化(≒手抜き)
- ③システム開発：食材宅配システム利用(オイックス、エーコープ、イオンネットスーパーを利用中)
- ④連携ネットワーク活用：子供が病気の時の義母、実両親、実姉弟の活用、等々です。

計画は順調にすすみ、とくに夫の育児参加度が、めざましく増加したのは、私の指導のたまものでしょうか。今は、使える資源をフル活用し、周囲の優しさに甘え、手抜きの家事は家族に目をつぶってもらいながら、仕事と家事・育児を両立する日々を続けています。

